

注意事項

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【タイトル】

ダンジョンに赤い弓兵を求めるのは間違っているだろうか。

【作者名】

初心者28号

【あらすじ】

TS転生した少女がFate世界の英霊の力を貰ってダンまちの世界で無双する話

第1話

目が覚めると、見た事のない場所にいた。

「…「」はどじだ？」

周りを見渡しても、一面真っ白で何も無い…

しばらく歩いてみたが、何も無い…

どつやら私はここで死ぬらしい…

「…いや、お主もう死んでいるからな」

……ハゲのじじいとエンカウントした…

「ハゲで悪かったのう」

「心が読めるのか？」

もしかして目の前にいる不審者は

「不審者ではない、神じゃ」

「やはりか」

「まあ、簡単に説明すると、わしの手違いで君の命の火を消してし

まったんじじゃ」

「元に戻すことは？」

「出来ん」

「そうか」

「お詫びに好きな所に転生させるから、許してくれ」

「特典付きでか？」

「もちろん」

「了解した、どこに転生するのだ」

「お主の好きな世界でいいのじゃ」

「特典はいくつももらえる？」

「

「お主は善人じゃからの、いくつでもいいぞ」

「そうか、なら転生先はダンまち、ダンジョンに出会いを求めるの

は間違っているだろうかの世界にしてくれ」

「わかった」

「特典はそうさなあ、FateノstaynightとFateノZorroのサーヴァント」

達の能力を強化したやつとそれを扱う技術と知識をくれ」

「一部無理なのがあるがよいか？」

「ああ、別にいいぞ」

「容姿はどうする？」

「そうだな、まずこの際だから女にしてくれ」

「…よいのか、お主男だろう？」

「ああ、二度目の人生だからな、女として楽しむのもよからう？」

容姿はイリヤスフィールを17歳ぐらいにしてボツ キュ ボンで

お姉さまって感じにしてほしい、服装はアーチャー装備で」

「わかった…では送るとしようかの、あとは自由に生きるといい

…くらぼじき」

「ああ、世話になった」

そう言いつつ、目の前が暗くなった。

主人公設定（ネタバレ）

イリヤスフィール・フォン・アインツベルン

【ステータス】

《Lv・6》

力：S 900 耐久：A 800 起用：A 800 敏捷：
A 800
魔力：A 800 幸運：S 900 対異常：A 800
耐魔力：A 800 騎乗：S 900 直感：A 800
魔力放出：A 800 単独行動：S 900 千里眼：C
600
心眼（真）：B 700 戦闘続行：A 800 勇猛：S
900
仕切り直し：C 600 陣地作成：A 800 道具作成：
A 800
気配遮断：S 900 透化：B 700 軍略：B 70
0
カリスマ：S 900

【魔法】

《風王結界》《無限の剣製》

【スキル】

《十二の試練》《燕返し》《無窮の武練》
《己が栄光のためでなく》《騎士は徒手にて死せず》
《神威の車輪》《遙かなる蹂躞制覇》《全て遠き理想郷》
《亜空間倉庫》《精霊の加護》《神性：C》
《合成》《神造人間》《小聖杯》《マッピング》